



奈良のシカ愛護月間特別企画

# 2024年度 「奈良のシカ」 シンポジウム

## 奈良のシカと人との共生

～1000年先の未来につなぐ～



# 2024.11.4

**時間**

## 12:30 ~ 16:30

(入場受付は 12:00 ~ 12:30)

**参加料**

## 無料

※自由席

(定員 250 名)

<参加申込>  
※事前申込制



<https://forms.gle/fsWWgrfYz6P32yS89>

### 月祝

**場所**

奈良公園バスターミナル  
レクチャーホール

(奈良県奈良市登大路町 ☒ ☒)



同時開催!

### みんなでまもろう! ならのシカコーナー

奈良のシカ保護啓発  
ポスターコンクール  
作品展示

歴代の優秀作品を展示するよ!



奈良のシカを守る  
活動へのご支援

奈良の鹿愛護会の活動は、  
皆さまからの会費やご寄付に  
よって支えられています

会員  
募集中!



天然記念物  
「奈良のシカ」  
調査資料展示

1974年から1979年に  
実施された天然記念物  
奈良のシカ調査から50年。  
当時の貴重な調査資料を  
公開します!

ご来場記念!  
鹿グッズ  
プレゼント!

鹿グッズをプレゼント!  
(お子様限定※小学生まで)



主催: 一般財団法人奈良の鹿愛護会

後援: 奈良県 奈良市 春日大社

お問い合わせ先: 奈良の鹿愛護会 email: info@naradeer.com

奈良のシカ愛護月間特別企画

# 2024年度「奈良のシカ」シンポジウム

## 「奈良のシカ」と人との共生

～1000年先の未来につなぐ～

天然記念物「奈良のシカ」の保護育成を担う奈良の鹿愛護会は、2024(令和6)年で設立90年を迎えました。奈良公園に生息するシカは、人々の手で守られてきた歴史的価値と、人に馴化した群れとしての学術的価値により、1957(昭和32)年に国の天然記念物「奈良のシカ」に指定されました。そして今日まで、都市近郊で人と共生している世界に例のない貴重な存在として知られるに至っています。そこで本シンポジウムでは、国内外からの来訪者に対し、奈良のシカの生態・歴史・現状を発信することで、奈良のシカのすばらしさを伝えるとともに、改めて奈良のシカの保護活動についてふりかえります。そして奈良のシカを守る意義や理念について、多くの方々と共有し、未来につなげることを目的とするシンポジウムを開催します。

### プログラム

- 12:30 開会 主催者挨拶 大川 靖則 (奈良の鹿愛護会会長)  
＜第1部 基調講演 1名 (50分)＞
- 12:50 基調講演 「崇敬されてきた神鹿」 花山院 弘匡 (春日大社/宮司)  
＜第2部 ゲスト講演 3名 (50分)＞
- 13:40 「奈良の鹿愛護会の歴史」 東城 義則 (佛教大学宗教文化ミュージアム/学芸員)  
13:55 「奈良のシカの歴史を語るDNA」 高木 俊人 (神戸女学院大学/専任講師)  
「奈良のシカについての疑問と解説：DNA解析の視点から」 兼子 伸吾 (福島大学/准教授)
- 14:30 休憩  
＜第3部 パネルディスカッション 6名 (105分)＞
- 14:45 パネルディスカッション 「1000年先の未来につなぐ」  
○パネリスト 5名  
兼子 伸吾 (福島大学/准教授)  
立澤 史郎 (北海道大学/特任助教)  
高木 俊人 (神戸女学院大学/専任講師)  
東城 義則 (佛教大学宗教文化ミュージアム/学芸員)  
渡邊 伸一 (奈良教育大学/教授)  
○コーディネーター 中西 康博 (奈良県ビジターズビューロー/専務理事)
- 16:30 閉会

※敬称略 五十音順

### 登壇者プロフィール



#### 花山院 弘匡 (春日大社 宮司)

國學院大文学部神道学科卒業。奈良県立奈良高校などで地理を担当、2008年から春日大社宮司。花山院家は藤原道長の孫で関白師実の二男家忠を祖に11世紀末に創立。五摂家に次ぐ九清華家の一つで旧侯爵家。宮司は第33代目当主、(一財)奈良の鹿愛護会名誉会長。

#### 兼子 伸吾 (福島大学 共生システム理工学類 准教授)

広島大学大学院国際協力研究科修了、博士(学術)。京都大学農学研究科研究員、福島大学共生システム理工学類特任助教を経て現職。帰還困難区域のイノシシと家畜ブタとの交雑状況の解明や奈良のシカの起源に関する論文など、生物の遺伝的現状やその起源などについて多数の論文がある。



#### 立澤 史郎 (北海道大学 文学研究院/北極域研究センター 特任助教)

京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了、博士(理学)。専門は保全生態学・環境教育。野生動物の調査や環境教育にかかわり2003年より現職。奈良公園のシカと人の変貌を危惧し、2019年より第2期奈良のシカ市民調査を主宰。奈良県「奈良のシカ」保護管理計画検討委員会委員、屋久島世界自然遺産科学委員会委員、IUCN(国際自然保護連合)シカ専門家部会・外来種部会会員など歴任。

#### 高木 俊人 (神戸女学院大学 人間科学部 専任講師)

福島大学 共生システム理工学研究科博士後期課程修了。博士(理工学)。2024年4月より現職。奈良公園を含む全国各地のニホンジカの遺伝解析に携わり学術論文を複数発表している。



#### 東城 義則 (佛教大学 宗教文化ミュージアム 学芸員)

2017年、総合研究大学院大学文化科学研究科単位取得退学。(一財)奈良の鹿愛護会研究員を経て、2024年より学芸員を務める。専門は、民俗学。近著に「奈良公園の案内書〜極(きわみ)〜」(分担執筆)がある。

#### 渡邊 伸一 (奈良教育大学 教授)

水俣病・イタイイタイ病などの公害問題や「奈良のシカ」の鹿害問題の社会学的研究を経て今日に至っている。



#### 中西 康博 (一般財団法人奈良県ビジターズビューロー 専務理事)

1979年奈良県庁へ入庁。2011年奈良公園室長、16年観光局理事・まちづくり推進局理事など観光関連部署を歴任。17年から奈良県VB業務執行理事を兼務。18年から現職。奈良県の椿を飛び越え、広くオールジャパンの観光に情熱を注ぐ。(一財)奈良の鹿愛護会副会長。

※敬称略 五十音順

### 【告知】2025年、奈良のシカ鹿せんべいBOXデザインコンクールを開催します！(予定)

「奈良のシカ」を対象として、鹿のために私たちができることや、保護を呼びかけるデザインコンクールです。国の天然記念物「奈良のシカ」を1000年先の未来につなぐために、鹿せんべいBOXから保護を呼びかけましょう！  
本コンクールのご案内につきましては、2025年夏以降に当会公式ホームページでお知らせいたしますので改めてご確認ください。

